

近畿厚生局長 殿

福井大学長
福田



福井大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成22年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	104人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

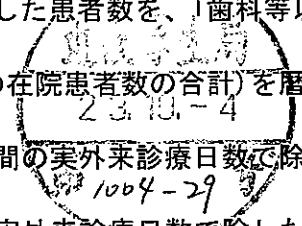
職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	157人	182人	339.0人	看護補助者	54人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	4人	7人	11.0人	理学療法士	10人	臨床検査技師	31人
薬剤師	29人	2人	31.0人	作業療法士	4人	臨床検査衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	3人	その他	0人
助産師	9人	1人	9.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	487人	62人	532.7人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	1人	その他の技術員	8人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯科技工士	1人	事務職員	200人
管理栄養士	5人	2人	6.5人	診療放射線技師	28人	その他の職員	41人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	470.8人	4.4人	475.2人
1日当たり平均外来患者数	1,138.1人	28.3人	1,166.5人
1日当たり平均調剤数	入院: 633.2 剤	外来: 76.0 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
抗悪性腫瘍剤感受性検査(HDRA法又はCD-DST法) (消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がん)	0人
超音波骨折治療法 (四肢の骨折(開放骨折又、粉碎骨折及び治療のために手術中に行われるものを除く。)であって、 観血的手術を実施したもの)	2人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	3人
抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
なし	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	尿中チオレドキシニン測定	取扱患者数	80人
当該医療技術の概要			
尿中チオレドキシニンの急性腎障害(AKI)マーカーとしての有用性についての研究。人工心肺を用いた体外循環下で尿中チオレドキシニンを測定し、腎血流低下による急性腎障害時の変化を解析する。			
医療技術名	尿中L-FABP測定	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
糖尿病性腎症患者におけるアンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬あるいはストロングスタチンの使用例において、尿細管のストレス指標である尿中L-FABPを測定し、薬物療法での変化を検討する。			
医療技術名	血中small dense LDLコレステロール(sdLDL-C)測定	取扱患者数	60人
当該医療技術の概要			
糖尿病性腎症におけるストロングスタチン使用例で、sdLDL-C測定を行い、変動を解析する。			
医療技術名	癌腹膜転移に対する化学温熱腹膜灌流療法(CHPP)の開発研究	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
大腸癌、虫垂癌、卵巣癌などの腹膜転移、腹膜中皮腫などに対し、腹腔内を高温の抗癌剤を含む灌流液で温熱灌流する温熱化学療法である。			
医療技術名	胃癌腹膜播種治療におけるタキサン系抗癌剤の腹腔内投与法の確立	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
臨床研究として、胃癌腹膜播種及び腹腔細胞診陽性症例に対して、腹腔ポートを用いたタキソール及びタキソテールの腹腔内投与を行っている。全身化学療法に加えて行うことで、治療成績の向上や安全性の確認、治療効果判定の確立を検討している。			
医療技術名	FES([F-18]Fluoroestradiol)-PET検査による乳癌に対する内分泌治療の効果予測	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
転移性乳癌における内分泌治療の適応は、原発腫瘍の免疫染色検査でホルモン受容体発現が1%以上とされ、そのclinical benefit は約60%と低率である。FES([F-18]Fluoroestradiol)-PET検査は、放射性同位元素を結合させたエストラジオールを転移性乳癌患者に投与することにより、組織検査をせずに転移巣のエストロゲン受容体発現を同定できる有用性があり、内分泌治療効果をほぼ100%正確に予測できることが期待できる。			
医療技術名	PETを用いた圧迫性頸髄症に対する脊髄グルコース代謝量の定量的評価と臨床応用	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
PET imaging の臨床応用として頸髄部の変化を確認し、圧迫病変の評価を行う。			
医療技術名	高度変形を伴う膝関節手術におけるナビゲーション支援手術	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要			
高度変形を伴う変形性膝関節症などの疾患の手術加療において、ナビゲーションシステムによる支援によって、より安全かつ正確な手術を行うことができる。			

医療技術名	股関節疾患におけるナビゲーション支援手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 高位脱臼や臼蓋形成不全などによる高度変形をきたす股関節疾患の治療において、ナビゲーションシステムによる支援によって、より安全かつ正確な手術を行うことができる。			
医療技術名	骨盤骨折の治療におけるナビゲーション支援手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 重度外傷である骨盤骨折の観血的治療において、ナビゲーションシステムによる支援を行うことで、より安全かつ正確な手術を行うことができる。			
医療技術名	サイトカイン産生測定による食物アレルギーの耐性獲得診断	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 末梢血単核球を食物抗原で刺激することにより産生されるサイトカインを測定することで、食物アレルギーの耐性獲得の有無を判定する。			
医療技術名	Fructose-1,6-bisphosphatase(FBPase)活性測定	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 末梢血単核球を分離培養し、FBPaseの酵素活性を測定することで、酵素活性にもとづくFBPase欠損症の診断を行う。			
医療技術名	末梢血リンパ球脂肪酸酸化能検査	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 末梢血リンパ球を培養し、アシルカルニチン分析により脂肪酸β酸化能を検査する。			
医療技術名	エストロゲンリセプターイメージング法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 エストロゲンリセプターイメージング法を用いた子宮内膜と進行性子宮体癌の診断			
医療技術名	インドシアニングリーン脳血管撮影	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要 脳血管手術において、インドシアニンググリーン10-25mgを静注し、蛍光を測定して脳血流を可視化する技術			
医療技術名	5-アミノレブリン酸脳腫瘍造影	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 悪性脳腫瘍の手術時に5-アミノレブリン酸を内服させ、脳内浸潤した腫瘍を光らせて切除する技術			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	15人	・膿疱性乾癬	2人
・多発性硬化症	22人	・広範脊柱管狭窄症	9人
・重症筋無力症	19人	・原発性胆汁性肝硬変	4人
・全身性エリテマトーデス	42人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	31人
・再生不良性貧血	14人	・混合性結合組織病	16人
・サルコイドーシス	37人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	9人	・特発性間質性肺炎	14人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	41人	・網膜色素変性症	20人
・特発性血小板減少性紫斑病	20人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	8人	・肺動脈性肺高血圧症	1人
・潰瘍性大腸炎	32人	・神経線維腫症	7人
・大動脈炎症候群	9人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・天疱瘡	9人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	15人	・ライゾーム病	5人
・クローン病	21人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	1人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	81人	・球脊髄性筋萎縮症	3人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	6人
・後縦靭帯骨化症	60人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	14人	・ミトコンドリア病	7人
・ウェゲナー肉芽腫症	1人	・リンパ管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	14人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	12人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	20人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・眼底三次元画像解析	・
・培養細胞による先天性代謝異常診断	・
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・膀胱水圧拡張術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

主)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病理診断部門:年48回程度(週1回) 臨床検査部門:年30回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 32 例 / 剖検率 13.85%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新興リケッチア感染症・日本紅斑熱の重症化機序解明と救命治療法の確立	岩崎 博道	内科学(1)	1,100	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Bcl-2を高発現する濾胞性リンパ腫におけるオートファジーの分子機構	吉田 明	血液・腫瘍内科	1,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
Bcl-2を高発現する濾胞性リンパ腫におけるオートファジーの分子機構	吉田 明	血液・腫瘍内科	800	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝微小環境において炎症性癌を制御するantagomirの標的創薬と前臨床試験	中本 安成	内科学(2)	5,600	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性甲状腺炎に伴う自己免疫性橋本脳症の臨床免疫学的検討	米田 誠	内科学(2)	1,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
パーキンソン病患者脳における酸化ストレスのPETイメージング	井川 正道	神経内科	1,700	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経疾患における電子メールを用いた在宅診療ネットワークの導入と評価に関する研究	中地 亮	神経内科	1,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
網羅的発現遺伝子解析により抽出された高血圧関連遺伝子AT4/IRAPの役割	此下 忠志	内科学(3)	1,500	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病性心筋症の発生機序における脂肪分化関連蛋白(ADRP)の機能解析	鈴木 仁弥	内科学(3)	1,300	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非小細胞肺癌における18F-FLTおよび18F-FDG PET画像の有用性の検討	梅田 幸寛	呼吸器内科	1,500	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
不器用さ・発達性協調運動障害のバイオメカニクス・ニューロイメージング研究	中井 昭夫	小児科学	1,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
食物アレルギーにおけるオートファジーの役割	安富 素子	小児科学	1,200	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
末梢血線維細胞による気道リモデリング機序の解析と臨床応用	大嶋 勇成	小児科	1,200	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
自閉症児のきょうだいに対する有効な支援方法の開発に関する研究	川谷 正男	小児科	700	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
血小板機能を用いた門脈塞栓術後肝再生促進に関する研究	村岡 紀昭	放射線医学	1,600	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
生理的食塩水等の既存臨床薬剤を用いたMRリンパ管イメージング法の開発	小坂 信之	放射線医学	1,800	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
統合失調症の認知障害に関する脳イメージング研究	和田 有司	精神医学	1,100	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
非ステロイド性抗炎症薬の神経保護と神経毒性に関する脳代謝画像研究	村田 哲人	精神医学	1,100	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計
18

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
統合失調症の脳内ネットワーク障害に関する多面的研究：形態・生理・機能的アプローチ	高橋 哲也	精神医学	2,200	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
バルプロ酸の薬理作用と脳内代謝機能に及ぼす影響に関する研究	小俣 直人	神経科精神科	1,300	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
広汎性発達障害者の脳形態・脳機能異常と生物学的マーカー異常の関連	小坂 浩隆	神経科精神科	1,400	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
FES-PETによる乳癌における内分泌療法の適応決定に関する研究	前田 浩幸	乳腺・内分泌外科	800	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
新規血管新生因子の大腸癌浸潤・転移への関与解明	山口 明夫	消化器外科	1,000	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
EG-VEGF splicing variantのクローニングと機能解析	五井 孝憲	消化器外科	1,200	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄損傷における神経再生因子の同定と網羅的遺伝子解析	馬場 久敏	整形外科学	12,000	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
脊髄損傷に対する神経幹細胞およびTrkC遺伝子を用いた再生医学的研究	馬場 久敏	整形外科学	1,000	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
RNA干渉、マイクロビーズアレイを用いた脊柱靭帯骨化症に対する網羅的遺伝子解析	内田 研造	整形外科学	1,200	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
神経栄養因子遺伝子導入による損傷後脊髄神経グリア系細胞の微小環境制御	中嶋 秀明	整形外科学	1,200	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
遺伝子導入による新しい骨化抑制療法の開発に向けた脊柱靭帯細胞の生物学的解析	彌山 峰史	整形外科・脊椎外科	2,200	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
酢酸を用いた可逆的神経機能障害の核医学解析と局所麻酔下脳血管バイパス術の開発	菊田 健一郎	脳脊髄神経外科学	1,000	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞膜透過性ペプチドを用いたがん性疼痛治療薬の開発	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学	3,500	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
人工冬眠を目的とした細胞膜透過性氷核ペプチドの開発	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学	900	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ウェーブレットバイコヒーレンス法を用いた視床皮質再帰性回路の過渡的同期特性解明	林 和子	麻酔科蘇生科	500	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メタボリック症候群候補遺伝子の変異・多型は下部尿路症(LUTS)の原因か	横山 修	泌尿器科学	2,900	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
メタボリックドミノの予防はED/LUTSの改善につながるか	横山 修	泌尿器科学	800	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
microRNAの発現解析による前立腺癌診断・治療への応用	伊藤 秀明	泌尿器科学	500	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
先天性腎尿路異常発生の新たなメカニズム：分化制御因子Id2欠損マウスの解析	青木 芳隆	泌尿器科学	200	⑨補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 累計
19 37

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
GABA作動薬は夜間頻尿を改善させるか？ —睡眠深度と膀胱機能に関する基礎研究	松田 陽介	泌尿器科学	2,100	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
心理ストレス反応に起因する中枢性機能障害におけるメラノコルチン系の役割	三輪 吉司	泌尿器科	1,000	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
PET画像診断法を用いた腎細胞癌に対する分子標的治療薬の早期治療効果判定の試み	大山 伸幸	泌尿器科	1,000	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
OABの発生：尿道上皮由来のATP/PG/NGFはkey mediatorか	棚瀬 和弥	泌尿器科	600	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前立腺癌のエストロゲン受容体の発現とそのリガンドを用いた新規PET画像診断法	石田 泰一	泌尿器科	1,100	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
前置胎盤、癒着胎盤に対する標準帝切術の確立：子宮底部横切開法の有用性の検討	小辻 文和	産科婦人科学	700	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エストロゲンレセプター発現PETを用いた子宮肉腫の新たな診断・治療法の開発	吉田 好雄	産科婦人科学	1,300	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
超低出生体重児の消化管成熟に向けた治療戦略：肺サーファクタントを用いた動物実験	西島 浩二	産科婦人科学	1,000	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エストロゲンレセプター発現PETを用いた婦人科腫瘍のホルモン療法予後予測	澤村 陽子	産科婦人科学	1,200	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
GDF-9の卵胞内標的遺伝子解析に基づく卵子機能マーカーの確立	折坂 誠	産科婦人科	700	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
PET検査による抗癌剤感受性試験法の開発：腫瘍細胞内P糖蛋白発現の画像化の試み	黒川 哲司	産科婦人科	1,000	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
水晶体におけるマイクロRNAの同定と機能解析および白内障関連遺伝子の解明	久保 江理	眼科学	700	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
スギ花粉症に対する舌下免疫療法施行患者血清中の網羅的蛋白解析から得た新薬開発	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	3,000	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
エクソゾームによるスギ花粉症治療の可能性	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,100	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
頭頸部癌増殖・浸潤におけるG691S RET polymorphismの機能解析	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,000	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
キメラ分子による好塩基球活性化の制御とスギ花粉症の新規治療	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
内分泌攪乱物質のアレルギー性鼻炎への影響	山本 英之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
酸化ストレス代謝酵素CYP1A1のSNPがアレルギー性鼻炎発症に及ぼす影響	坂下 雅文	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
CpG-DNAによるアレルギー性鼻炎抑制の基礎的研究	窪 誠太	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400	⑩補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計 累計
19 56

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
頭頸部癌におけるマイクロRNAの動き	鈴木 弟	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,400	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
糖尿病性潰瘍におけるAGEs・RAGEの関与の検討	安田 聖人	皮膚科	1,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
BMP-2と骨髄未分化幹細胞移植法を用いた広範囲顎顔面骨欠損修復への試み	植野 高章	歯科口腔外科学	600	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
放射線・化学療法で誘発される口内炎のエピジェネティック変化に対する治療法の検討	飛田 尚慶	歯科口腔外科	2,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
カテキン類による増殖因子受容体分解と腫瘍増殖抑制の分子機構の解明	吉村 仁志	歯科口腔外科	1,110	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
新規尿検査としての尿中エクソソーム分画中腎症マーカー蛋白の検出	吉田 治義	腎臓病態内科学	800	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
脂質転送蛋白と脂質応答性転写因子の腎線維化抑制作用の解析と新規治療薬の探索	木村 秀樹	腎臓病態内科学	1,000	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
糖尿病モデルマウスにおける低酸素環境とポドサイト障害	高橋 直生	検査部	1,100	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
アレンドロネートが関節軟骨及び椎間板細胞の代謝活性に及ぼす影響	小林 茂	リハビリテーション部	1,400	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
新しい頸髄慢性圧迫モデルを用いた脊髄の可塑性の検討	久保田 雅史	リハビリテーション部	800	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
ゲムシタピンの副作用発現を予測するための血漿中シチジンデアミナーゼ活性の評価	根来 寛	薬剤部	570	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
放射線による口腔粘膜炎に対するエンプロステル含嗽水とP-AG液の臨床評価	山下 慎司	薬剤部	550	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
ヘリコバクター・ピロリ菌cagYの多型と発癌因子CagAとの関連	山川 雅希代	光学医療診療部	570	補 日本学術振興会 委 科学研究費補助金
新規プリンヌクレオシドアナログ、クロファラビンによる治療抵抗性白血病の克服	山内 高弘	血液・腫瘍内科	200	補 (財)痛風財団 委
基礎薬理学的作用メカニズムに根ざした新規抗がん治療レジメンの開発を目的とした、難治性がん患者細胞の薬剤誘導DNA障害・蛋白転写阻害の基礎的評価に基づく臨床研究。	高木 和貴	血液・腫瘍内科	200	補 (財)痛風財団 委
Stage II大腸癌に対する術後補助化学療法に関する研究(第Ⅲ相臨床試験)	山口 明夫	消化器外科	210	補 (財)先端医療振興財団 委
Stage II大腸癌における分子生物・病理学的マーカーによる再発 high-risk 群とフツ化ピリミジン感受性群の選択に関する研究	山口 明夫	消化器外科	105	補 (財)先端医療振興財団 委
初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法 -CPT-11単独療法 VS TS-1+CPT-11 併用化学療法の無作為化比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験-	廣野 靖夫	外科学(1)	232	補 特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構 委

小計 累計
18 74
計 74

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入記すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を入記すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を入記すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Int. J. Inf. Dis.	14	4	e328-333	2010.04	Correlation between the concentrations of tumor necrosis factor- α and the severity of disease in patients infected with <i>Orientia tsutsugamushi</i>	岩崎 博道	内科学(1)
臨床血液	51	6	398-401	2010.06	血液疾患患者の血液培養から検出された Coagulase-negative Staphylococciの臨床的意義: 真の菌血症か単なる汚染か	池ヶ谷 諭史	感染症・ 膠原病内科
Blood	116	12	2089-2095	2010.12	Activity of the multi-targeted kinase inhibitor, AT9283, in imatinib-resistant BCR-ABL positive leukemic cells	山内 高弘	血液・腫瘍内科
痛風と核酸代謝	34	2	179-187	2010.12	炎症性サイトカイン過剰産生ヒト胸腺癌細胞株 (ThyL-6)におけるFlavopiridolによる転写抑制を介したIL-6分泌抑制	高木 和貴	血液・腫瘍内科
Oncol Rep	25	5	347-352	2011.02	Camptothecin induces DNA strand breaks and is cytotoxic in stimulated normal lymphocytes	山内 高弘	血液・腫瘍内科
J Oncol	398	4	911-919	2011.02	Characterization of cytarabine-resistant leukemic cell lines established from five different blood cell lineages using gene expression and proteomic analyses	山内 高弘	血液・腫瘍内科
Neurol Sci	298	1-2	124-126	2010.11	Posterior reversible encephalopathy syndrome following measles vaccination	濱野 忠則	神経内科
Circ J.	74	12	2560-2561	2010.11	Energy States in Mitochondrial Cardiomyopathy [Editorial]	井川 正道	神経内科
Mitochondrion	10	3	300-308	2010.04	Extensive screening system using suspension array technology for detecting mitochondrial DNA point mutations.	米田 誠	内科学(2)
臨床神経	50	8	581-583	2010.08	抗N末端 α -エノラーゼ抗体をみとめた急性小脳失調症の1例	米田 誠	内科学(2)
Clin Exp Immunol	163	2	165-177	2011.02	Prolonged recurrence-free survival following OK432-stimulated dendritic cell transfer into hepatocellular carcinoma during transarterial embolization	中本 安成	内科学(2)
Gastroenterology	141	1	128-140	2011.03	Malnutrition Impairs Interferon Signaling through mTOR and FoxO pathways in Patients with Chronic Hepatitis C	中本 安成	内科学(2)
J Hypertens	28	10	2156-2160	2010.10	A new generation N/L type calcium channel blocker leads to less activation of the renin-angiotensin system compared with conventional L type calcium channel blocker	此下 忠志	内科学(3)
Circ J.	74	12	2702-2711	2010.10	Abnormal myocardial energy-production state in mitochondrial cardiomyopathy and acute response to L-arginine infusion	荒川 健一郎	内科学(3)
Cell Mol Biol Lett	16	2	226-235	2011.02	The mitochondria mediate the induction of NOX1 gene expression by aldosterone in an ATF-1-dependent manner	宮森 勇	内科学(3)
Cell Biochem Funct	29	2	156-163	2011.03	First survey of the three gene polymorphisms (PON1 Q192R, eNOS E298D and eNOS C-786T) potentially associated with coronary artery spasm in African populations and comparison with worldwide data	荒川 健一郎	内科学(3)
Biochem Biophys Res Commun	407	4	656-662	2011.03	Species differences of macrophage very low-density-lipoprotein (VLDL) receptor protein expression	高橋 貞夫	内分泌・ 代謝内科
Int Surg	95	3	210-214	2010.07	The effectiveness of transverse colectomy in patients with ultra-lower rectal cancer	五井 孝憲	消化器外科

小計

18

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
ONCOL RES	18	11-12	541-547	2010.11	Survivin-3B Gene Decreases the Invasion-Inhibitory Effect of Colon Cancer Cells With 5-Fluorouracil	澤井 利次	消化器外科
BMC cancer	10	443	1-14	2010.08	The activation of Proteinase-Activated Receptor-1(PAR1) mediates gastric cancer cell proliferation	藤本 大裕	外科学(1)
日鏡外会誌	15	4	531-536	2010.08	整容性に優れた臍内下半1.2cm皮膚切開による単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術	飯田 敦	消化器外科
Pathol. Int	61	1	28-33	2011.01	Ruptured mucinous cystic neoplasm with an associated invasive carcinoma of pancreatic head in a pregnant woman: Report of a case and review of literature	片山 寛次	外科学(1)
Lung Cancer	73	3	289-293	2011.02	Changes in aromatase (CYP19) gene promoter usage in non-small cell lung cancer	佐々木 正人	外科学(2)
LUTS	2	1	27-30	2010.04	Influence of Urethral Sphincter Incompetence on Bladder Shape and Function in Myelodysplastic Children	横山 修	泌尿器科学
Neurourol Urodyn	29	4	587-591	2010.04	Zolpidem increases bladder capacity and decreases urine excretion in rats	横山 修	泌尿器科学
Int J Urol	17	4	385-386	2010.04	Composite paraganglioma with ganglioneuroma in the retroperitoneal space	伊藤 秀明	泌尿器科学
Int J Urol	17	5	397-409	2010.05	Clinical guidelines for nocturia	横山 修	泌尿器科学
World J Urol	28	5	609-614	2010.10	Selective α 1A-blocker improves bladder storage function in rats via suppression of C-fiber afferent activity	横山 修	泌尿器科学
Urology	76	5	1267	2010.11	Urinary prostaglandin E ₂ was increased in patients with suprapontine brain diseases, and associated with overactive bladder syndrome	山内 寛喜	泌尿器科学
J Urol	184	1	386-391	2010.07	Melatonin increases bladder capacity via GABAergic system and decreases urine volume in rats	横山 修	泌尿器科学
Urology	77	1	60-64	2011.01	Assessment of overactive bladder symptoms: comparison of 3-day bladder diary and the overactive bladder symptoms score	横山 修	泌尿器科学
Urol	185	1	341-346	2011.01	Modulation of stretch evoked adenosine triphosphate release from bladder epithelium by prostaglandin E ₂	田中 一平	泌尿器科学
Eur J Nucl Med Mol Imaging	38	1	81-89	2011.01	Early response assessment in prostate carcinoma by 18F-fluorothymidine following anticancer therapy with docetaxel using preclinical tumour models	大山 伸幸	泌尿器科
癌と化学療法	38	3	481-484	2011.03	MVAO抵抗性進行・再発尿路上皮癌に対する Paclitaxel/Carboplatin/Gemcitabine併用化学療法の検討	伊藤 秀明	泌尿器科学
デルマ	166	5	56-63	2010.05	特集/皮膚悪性腫瘍 診断と治療 乳房外パジェット病の診療ガイドラインについて	清原 隆宏	皮膚科学
Alternative to Animal Testing and Experimentation	15	3	124-130	2010.12	A respiratory study by a new quantitative structure-activity relationships (QSAR)	井戸 敏子	皮膚科
BMC Neurosci	11	84		2010.07	Microarray analysis of expression of cell death-associated genes in rat spinal cord cells exposed to cyclic tensile stresses in vitro	内田 研造	整形外科科学
J Neurosurg-Spine	13	5	612-621	2010.11	Vertebroplasty-augmented short-segment posterior fixation of osteoporotic vertebral collapse with neurological deficit in the thoracolumbar spine: comparisons with posterior surgery without vertebroplasty and anterior surgery	内田 研造	整形外科科学

小計 累計

20 38

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Artif Organs	34	5	377-383	2010.05	Metaphyseal-loading anterolaterally-flared femoral stem in cementless total hip arthroplasty: five- to eleven-year follow-up evaluation	川原 英夫	整形外科
神経治療学	27	4	18-22	2010.07	急性期脳梗塞患者の在宅退院とBerg balance scaleの関係	久保田 雅史	リハビリテーション部
Spine	35	22	2004-2014	2010.10	Pathomechanisms of sciatica in lumbar disc herniation: effect of periradicular adhesive tissue on electrophysiological values by an intraoperative straight leg raising test	小林 茂	リハビリテーション部
理学療法福井	14	-	18-22	2010.11	Berg balance scale及びFunctional independence Measureを用いた脳梗塞患者の急性期病院から退院先の予測	久保田 雅史	リハビリテーション部
J Neurotrauma	28	3	459-467	2011.02	Development of chronic cervical cord compression model in rat: Changes of the neurological behaviors, radiological and pathological findings	久保田 雅史	リハビリテーション部
BMC Neurosci	11	1	125	2010.10	Neuroprotective effect of peroxiredoxin 6 against hypoxia-induced retinal ganglion cell damage	久保 江理	眼科学
日本視能訓練士協会	39	-	239-243	2010.10	加齢黄斑変性症の視力評価における少数視力表とlogMAR表の比較	加納 真衣	眼科
頭頸部外科	20	2	191-194	2010.10	魚骨異物が原因と考えられる食道壁内膿瘍の1症例	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
耳鼻免疫アレルギー	28	2	143-144	2010.09	スギ花粉症患者自己IgGによる好塩基球の制御	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Facial N Res Jpn	30	-	94-96	2010.12	神経減荷術に鼻粘膜を移植する顔面神経麻痺の新規治療	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Biochem. Biophys. Res. Commun.	396	2	310-316	2010.05	Suppression of histone deacetylase 3 (HDAC3) enhances apoptosis induced by paclitaxel in human maxillary cancer cells in vitro in vivo	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Cytokine	50	2	163-169	2010.05	Poly(I:C) induces BlyS-expression of airway fibroblasts through phosphatidylinositol 3-kinase	山田 武千代	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Allergy and Asthma Proceedings	31	4	296-303	2010.07	Efficacy of oral olopatadine hydrochloride for the treatment of seasonal allergic rhinitis: A randomized, double-blind, placebo-controlled study	山本 英之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Int Arch Otorhinolaryngol	267	1	61-66	2010.09	Bax-gene transfer enhances apoptosis by steroid treatment in human nasal fibroblasts	木村 有一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
Am J Pathol	177	5	2347-2356	2010.11	Development of Sporadic Microsatellite Instability in Colorectal Tumors Involves Hypermethylation at Methylated-In-Tumor Loci in Adenoma	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
J Allergy Clin Immunol	126	6	1163-1169	2010.12	Apolipoprotein A-IV is a candidate target molecule for the treatment of seasonal allergic rhinitis	藤枝 重治	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Otology Japan	20	5	704-710	2010.12	キヌタ骨をはずさずに行う顔面神経減荷術(経乳突法)の術後聴力	齋藤 武久	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
Ann Surg	252	6	1044-1051	2010.12	B7-h3 ligand expression by primary breast cancer and associated with regional nodal metastasis	成田 憲彦	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
International Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	39	4	364-370	2010.04	Development of an in vitro model for radiation-induced effects on oral mucositis	飛田 尚慶	歯科口腔外科
Oncol Rep	23	6	1625-1633	2010.06	Expression of microRNAs in squamous cell carcinoma of human head and neck and the esophagus: miR-205 and miR-21 are specific markers for HNSCC and ESCC	佐野 和生	歯科口腔外科学
Biochem. Biophys. Res. Commun.	399	3	416-421	2010.08	Identification of BMP-responsive elements in the mouse Id2 gene	中廣 剛士	歯科口腔外科学

小計 累計

21 59

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌)	130	4	631-632	2010.04	ICFを用いた気がかりな児童のための支援システム	中井 昭夫	小児科学
J Inherit Metab Dis	33	Suppl. 2	S283-288	2010.05	Useful second-tier tests in expanded newborn screening of isovaleric acidemia and methylmalonic aciduria	畑 郁江	小児科学
Hum Genet	127	6	409-411	2010.06	Molecular pathogenesis of a novel mutation, G108D, in short-chain acyl-CoA dehydrogenase identified in subjects with short-chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency	畑 郁江	小児科学
日本マス・スクリーニング学会誌	20	3	217-222	2010.11	広島県におけるタンデムマス新生児スクリーニング10年間の経験	畑 郁江	小児科学
Redox Report	16	1	45-46	2011.01	Evaluation of oxidative stress status in children with pervasive developmental disorder and attention deficit hyperactivity disorder using urinary-specific biomarkers	川谷 正男	小児科
Ann Emerg Med.	55	5	483-490	2010.05	Images in emergency medicine. Pregnant woman with gastric pain. Hypertriglyceridemia-induced pancreatitis	西島 浩二	産科婦人科学
Obstet Gynecol.	116	suppl. 2	518-520	2010.08	Diagnosis and management of pancreatic carcinoma during pregnancy	大沼 利通	産科婦人科学
Eur J Cancer	46	18	3445-3452	2010.12	Localisation of phosphorylated mTOR expression is critical to tumour progression and outcomes in patients with endometrial cancer	吉田 好雄	産科婦人科学
Hum Reprod	25	10	2475-2479	2010.10	Decreased pregnancy rate is linked to abnormal uterine peristalsis caused by intramural fibroids	小辻 文和	産科婦人科学
Eur J Nucl Med Mol Imaging.	38	1	37-45	2011.01	Functional oestrogen receptor alpha imaging in endometrial carcinoma using 16 α -[18F]fluoro-17 β -oestradiol PET	吉田 好雄	産科婦人科学
Clinical Neurophysiology	121	9	1438-1446	2010.09	Assessment of EEG dynamical complexity in Alzheimer's disease using multiscale entropy	水野 智之	精神医学
Neuroimage	51	1	173-182	2010.05	Antipsychotics reverse abnormal EEG complexity in drug-naïve schizophrenia: a multiscale entropy analysis	高橋 哲也	神経科精神科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	34	4	624-631	2010.05	Relationship of Parental Bonding Styles with Gray Matter Volume of the Dorsolateral Prefrontal Cortex in Young Adults	小坂 浩隆	精神医学
Neuroimage	50	4	1357-1363	2010.05	Smaller Insula and Inferior Frontal Volumes in Young Adults with Pervasive Developmental Disorders	小坂 浩隆	精神医学
母性衛生	51	2	290-300	2010.07	親性育成のための基礎研究(1)-青年期男女における乳幼児との継続接触体験の心理・生理・脳科学的指標による評価-	小坂 浩隆	精神医学
母性衛生	51	2	406-415	2010.07	親性育成のための基礎研究(2)-青年期男女における乳幼児との継続接触体験の心理・生理・脳科学的指標による男女差の評価-	小坂 浩隆	精神医学
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry	34	7	1361-1362	2010.10	Adjunctive treatment with low-dosage aripiprazole for blonanserin-induced hyperprolactinemia in a female patient with schizophrenia	石飛 信	精神医学
Front Integr Neurosci	4	127	1-12	2010.11	"Stay tuned": Inter-individual neural synchronization during mutual gaze and joint attention	小坂 浩隆	精神医学
母性衛生	54	4	655-665	2011.01	親性育成のための基礎研究(3)-青年期男女における乳幼児との継続接触体験の親性準備性尺度・fMRIによる評価-	小坂 浩隆	精神医学

小計 累計

19 78

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry.	35	2	439-445	2011.03	Volume Reduction of Ventromedial Prefrontal Cortex in Bipolar II Patients with Rapid Cycling: A Voxel-Based Morphometric Study	小坂 浩隆	精神医学
Brain Tumor Pathol	27	1	17-21	2010.04	Nestin expression in astrocytic tumors delineates tumor infiltration	北井 隆平	脳脊髄神経外科
脳神経外科ジャーナル	19	5	388-394	2010.05	脳神経外科領域におけるoff-the-job-trainingシステムの構築-福井大学の現況-	北井 隆平	脳脊髄神経外科
Ann Nucl Med	24	5	371-377	2010.06	Clinical implication and prognosis of normal baseline cerebral blood flow with impaired vascular reserve in patients with major cerebral artery occlusive disease	新井 良和	脳脊髄神経外科
日本内分泌学会雑誌	86	Suppl	72-73	2010.06	蝶形骨洞内は清潔か?	北井 隆平	脳脊髄神経外科
Atherosclerosis	211	1	114-121	2010.07	Transdifferentiation of bone marrow-derived endothelial progenitor cells into the smooth muscle cell lineage mediated by transforming growth factor- β 1	菊田 健一郎	脳脊髄神経外科学
J Neurosurg	113	2	218-224	2010.08	Proliferation of vascular smooth muscle cells in glioblastoma multiforme	竹内 浩明	脳脊髄神経外科学
脳卒中の外科	38	6	415-420	2010.11	対側閉塞を伴った頸部内頸動脈狭窄症4例のPositron Emission Tomography (PET)による血行再建術前後の脳循環代謝の評価	新井 良和	脳脊髄神経外科
神経内科	74	1	107-108	2011.01	三叉神経痛を生じた遺残性原始三叉神経動脈のMR画像	有島 英孝	脳脊髄神経外科学
J Pharmacol Sci	112	4	438-443	2010.04	Local administration of synthetic cell-penetrating peptide antagonizing Trk A function suppresses inflammatory pain in rats	重見 研司	麻酔・蘇生学
Clin Neurophysiol	121	8	1198-1204	2010.08	Electroencephalographic changes in the late cardiopulmonary bypass period are not reflected in the bispectral index	林 和子	麻酔科蘇生科
J Pharmacol Sci	114	1	79-84	2010.09	A synthetic cell-penetrating peptide antagonizing TrkA function suppresses neuropathic pain in mice	廣瀬 宗孝	麻酔・蘇生学
麻酔	59	12	1539-1543	2010.12	初期臨床研修医における薬物動態シミュレーションプログラムを用いた教育的効果-フェンタニル効果部位濃度の比較-	松木 悠佳	麻酔・蘇生学
脳卒中	32	6	675-679	2010.12	造影剤を用いない脳血流測定法CASL(Continuous Arterial Spin Labeling)の理論と臨床応用:その信頼性と限界	木村 浩彦	放射線医学
J Cereb Blood Flow Metab	31	2	527-534	2011.02	Development of an H2150 steady-state method combining a bolus and slow increasing injection with a multi-programming syringe pump	丸山 力哉	放射線部
医療機器学	80	4	355-361	2010.08	プリオン病ハイリスク手術に使用した器材の洗浄と滅菌	佐藤 一史	手術部
日本臨床検査自動化学会誌	35	3	355-359	2010.06	化学発光酵素免疫測定によるKL-6測定試薬の基礎的検討	旭 ななえ	検査部
Journal of Microbiological Methods	82	3	198-204	2010.09	A specific serum IgA antibody discriminates pneumonia from colonization state in patients with Pseudomonas aeruginosa in sputum culture	山下 政宣	検査部
Clinical and Experimental Nephrology	15	1	34-40	2011.02	Glucocorticoid enhances hypoxia-and/or transforming growth factor- β -induced plasminogen activator inhibitor-1 production in human proximal renal tubular cells	木村 秀樹	腎臓病態内科学

小計 累計

19 97

雑誌名	巻	号	頁	発行年月	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Nephrol	74		74-80	2010.07	Tubulointerstitial nephritis with IgM-positive plasmacytoid large lymphocyte infiltration in a patient with primary biliary cirrhosis and Sjögren's syndrome.	高橋 直生	検査部
日本臨床細胞学会雑誌	49	3	221-222	2010.05	ダグラス窩に認められた良性多嚢胞性中皮腫の1例	今村 好章	病理部
Journal of Obstetrics and Gynaecology Research	37	6	636-640	2011.03	Atypical metastatic carcinoid of the uterine cervix and review of the literature	今村 好章	病理部

小計

3

計

100

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名		病院長 山口 明 夫		
管理担当者氏名		総務管理課長 堰 富美雄 医療情報部長 大嶋 勇成 薬剤部長 政田 幹夫	経営企画課長 國友 陵一 医療安全管理部長 井俣 彰夫 放射線部長 木村 浩彦	医療サービス課長 前島 耕志 感染制御部長 岩崎 博道 ME機器管理部長 山崎 幸直
		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書 各科診療日誌		病院部医療サービス課（病歴室）、薬剤部、放射線部、医療情報部 各診療科	外来診療録は、1患者1ファイル、入院診療録は、1患者1入院1ファイルで病歴室において中央管理している。電子診療録として、1患者1ファイルを医療情報部において管理している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務部人事労務課		
	高度の医療の実績	病院部経営企画課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院部総務管理課		
	高度の医療の研修の実績	病院部総務管理課		
	閲覧実績	病院部総務管理課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	病院部医療サービス課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	病院部医療サービス課及び薬剤部		
に規 掲 げ 第 一 条 の 十 一 項 各 号 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項 第 一 号	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部		
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部		
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部		
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部		
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部		
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部		

(様式第12)

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME 機器管理部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME 機器管理部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME 機器管理部
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME 機器管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 山口 明夫
閲覧担当者氏名	総務管理課長 堰 富美雄
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	58.8 %	算定期間	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	7,038人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,197人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,740人	
	D: 初診の患者の数	19,257人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
- 2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊦ ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理の基本的考え方</p> <p>(2) 医療に係る安全管理の体制</p> <p>(3) 職員研修に関する基本方針</p> <p>(4) 医療に係る安全確保の改善方策に関する基本方針</p> <p>(5) 医療上の事故発生時の対応に関する基本方針</p> <p>(6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む。)</p> <p>(7) 相談への対応に関する基本方針</p> <p>(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療安全管理の指針に関すること。</p> <p>(2) 医療安全管理の対策及び改善に関すること。</p> <p>(3) 医療安全管理に係る指導及び助言に関すること。</p> <p>(4) その他医療安全管理の重要事項に関すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 15 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>(1) 医師及び看護師を対象に、平成22年5月28日に院内講師による「処方オーダーの仕方」についての研修を行った。</p> <p>(2) 全職員を対象に、平成22年6月22日、7月1日及び12月17日に院内講師による「病院内における苦情対応」についての研修を行った。</p> <p>(3) 看護師及び看護助手を対象に、平成22年6月30日に外部講師による「ストレッチャーの正しい操作方法」についての研修を行った。</p> <p>(4) 全職員を対象に、平成22年7月28日に外部講師による「骨疼痛モデルにおけるオキシコドンの特性」及び「在宅移行を視野に入れた緩和ケアの実際」についての研修を行った。</p> <p>(5) 全職員を対象に、平成22年9月29日に院内講師による「プロから学ぶインフォームドコンセント取得のコツ」についての研修を行った。</p> <p>(6) 全職員を対象に、平成22年10月8日に外部講師による「内服薬処方せん記載に関する安全対策」についての研修を行った。</p> <p>(7) 全職員を対象に、平成22年10月15日に院内講師による「アナフィラキシーショック時の対応」についての研修を行った。</p> <p>(8) 医療従事者及び学生を対象に、平成22年10月21日に院内講師による「静脈栄養と経腸栄養の安全管理、簡易懸濁法の実際」についての研修を行った。</p> <p>(9) 医師を対象に、平成22年11月17日に外部講師による「がん薬物療法におけるリスクマネジメント」についての研修を行った。</p> <p>(10) 医師及び看護師を対象に、平成22年12月8日に院内講師による「知っていると便利！モニタ機器の原理と見方」についての研修を行った。</p> <p>(11) 医療従事者を対象に、平成22年12月16日に院内講師による「嚥下障害の基礎、摂食・嚥下障害リハビリテーションの実際、義歯管理」についての研修を行った。</p> <p>(12) 全職員を対象に、平成23年1月19日に院内講師による「心肺蘇生法のガイドライン変更にもなう研修会」を行った。</p> <p>(13) 全職員を対象に、平成23年1月27日に外部講師による「褥瘡の予防と感染管理」についての研修を行った。</p> <p>(14) 全職員を対象に、平成23年2月28日に院内講師による「医薬品の安全管理に関する講習会」についての研修を行った。</p> <p>(15) 全職員を対象に、平成23年3月30日に院内講師による「平成22年度医療安全・感染制御の取り組み」についての研修会を行った。</p>	

(様式第13-2)

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/>) ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) オカレンスレポートは医療安全管理部に報告され、GRMと部員が日々モニタリングを行い、現場確認を行っている。また、内容により各部署における対策の確認が必要な場合は、医療安全管理部長より文書で提出を依頼し、医療安全管理部で内容を確認し検証を行っている。 (2) 医療事故防止強化月間を定め、重要事項を決めて医療事故防止に取り組んでいる。 (3) 医療安全管理部員が毎月2回実施部署を決め、院内パトロールを実施している。 (4) 医療安全推進月間時に部署間相互チェックを実施している。 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (1 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (1 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任(3)名 兼任(17)名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理委員会への情報提供及び改善等の提案に関すること。 (2) オカレンスの収集、調査、分析及び防止策に関すること。 (3) オカレンスレポートで報告された医療上の事故について、影響レベルの判定に関すること。 (4) 医療上の事故防止に係る提言及び指導に関すること。 (5) 医療安全管理に関する教育、研修及び啓発に関すること。 (6) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確、かつ、十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (7) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (8) 各部門のリスクマネージャーとの連絡調整及びリスクマネージャー会議の運営に関すること。 (9) その他医療の安全管理に関すること。 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	④ ・ 無
<p>指針の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策に関する管理体制 (3) 職員研修に関する基本方針 (4) 感染症発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 指針の閲覧に関する基本方針 (7) その他院内感染対策の推進のために必要な基本方針</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>活動の主な内容：</p> <p>(1) 院内感染対策指針に関すること。 (2) 感染予防対策の確立に関すること。 (3) 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 (4) 感染源の調査に関すること。 (5) 感染予防に係る諸調査及び情報の収集に関すること。 (6) その他感染対策についての重要事項に関すること。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 7 回
<p>研修の主な内容：</p> <p>(1) 全職員を対象に、平成22年7月28日に外部講師による「2010年度の予防接種に関する話題-麻疹風疹対策、日本脳炎対策、新しいワクチンを中心に-」についての研修を行った。 (2) 全職員を対象に、平成22年9月7日に外部講師による「抗菌薬適正使用と医療関連感染対策」についての研修を行った。 (3) 全職員を対象に、平成22年10月19日に院内講師による「あらためて問われる接触感染予防対策の実践」についての研修を行った。 (4) 全職員を対象に、平成22年11月22日に外部講師による「ヒトパピローマウイルス-いぼウイルスから、子宮頸癌ウイルスへ-」についての研修を行った。 (5) 全職員を対象に、平成23年1月27日に外部講師による「褥瘡の予防と感染管理」についての研修を行った。 (6) 全職員を対象に、平成23年2月25日に外部講師による「HIV感染症の早期診断のために」についての研修を行った。 (7) 全職員を対象に、平成23年3月30日に院内講師による「平成22年度医療安全・感染制御の取り組み」についての研修会を行った。</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (④ ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 感染症発生状況は感染制御部に報告され、感染管理看護師長と部員が日々モニタリングを行い、現場確認を行っている。また、内容により各部署における対策の確認が必要な場合は、感染制御部長より文書で提出を依頼し、部会で内容を確認し検証を行っている。 (2) 感染制御部員が定期的実施部署を決め、ラウンドを実施している。 (3) 各部署のリンクナースはICNと連携し、各看護単位の感染対策上の問題点を抽出し、改善策を実践している。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
②	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
	・ 研修の主な内容： 1. 全医療職員に対して「医薬品の安全使用に関する講習会」を行った。 2. 新任の研修医、看護師に対して医薬品の安全使用に関する研修を行った。 3. オカレンスにつながらない処方オーダーの方法について研修を行った。	
③	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
	・ 手順書の作成 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： 1. 医療安全パトロール時に手順書の中からピックアップした項目の実施状況を確認 2. 年度末の定数配置薬期限チェック時に各部署の業務実施状況を確認 (セルフチェック→実地確認)	
④	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
	・ 医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 処方せんへ臨床検査値の印字を開始、院外薬局からの疑義照会事例を収集 2. ブルーレターが発出された医薬品について、当院処方患者の状況を確認	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 110 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>1) 新規購入の医療機器に関し、納品時に使用説明を含めた研修を行った。 2) 人工呼吸器や保育器等の高度な医療機器に関して、不定期に研修会を実施した。 3) 新規採用職員を対象とした医療機器の研修を行った。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (○有) ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>重要医療機器に関し、年間保守計画を立てて定期的に実施している。 また、必要に応じて定期間隔で点検を実施している医療機器もある。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (○有) ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(財)日本医療機能評価機構及び(独)医薬品医療機器総合機構から情報を収集し、必要に応じて医療安全管理部と医療機器安全委員会により、活用及び改善対策を取っている。</p>	